

授業科目(ナンバリング)	発達と老化の理解 I (DA212) (実践的教育科目)			担当教員	中村 龍文・※田中 千恵美 (実務経験のある教員)		
展開方法	講義	単位数	2 単位	開講年次・時期	2 年・前期	必修・選択	選択(介護必修)
授業のねらい							アクティブ・ラーニングの類型
介護実践に必要な知識として、「発達と老化の理解」では、誕生から死に至るまでの人間の成長と発達の過程における、身体的・社会的変化及び老化が生活に及ぼす影響を理解し、ライフサイクルの特徴に応じた生活を支援するために必要な基礎的な知識を習得する学習とする。以上より、福祉・介護の専門的な知識と技術を理解できるようになることを目標とする。							①②③⑩
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標				評価手段・方法	評価比率	
専門力	人間の成長・発達から老化における心理・身体的変化の特徴に関して説明できる。				・定期試験 ・レポート	60% 10%	
情報収集、分析力							
コミュニケーション力							
協働・課題解決力	人間の発達と老化に関する理解が十分に得られ、現実に即した問題解決のための思考・判断により福祉的な支援の方法を説明できる。				・定期試験 ・レポート	10% 5%	
多様性理解力	専門的知識を基盤として実際のあらゆる場面に即した対応ができる。				・定期試験 ・レポート	10% 5%	
出席					受験要件		
合計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
「定期試験」の成績を 80%とし筆記試験を行う。定期試験は、授業中の説明した内容、教科書及びプリントの中から出題し、基本的な知識が定着しているかどうかを評価する。「レポート」は 20%とし、随時授業中に課した課題を評価する。各教員が 100 点満点で評価し、授業回数の配分で最終評価とする。その都度フィードバックを行い確認する。							
授業の概要							
医療現場で医師の資格を持つ教員と保健師・看護師の資格を持つ教員が担当し、現場実践を活かした学修を行う。人間の成長・発達の基礎的知識と、高齢者理解のため、老化に関する心理や身体機能の変化の特徴に関する基礎的事項を解説し、それにより起こってくる日常生活での心身機能の変化を学んでいく。 No.1～10 の 10 コマを田中、No.11～15 の 5 コマを中村が担当する。 この授業の標準的な 1 コマあたりの授業外学修時間は、180 分である。							
教科書・参考書							
教科書：最新・介護福祉士養成講座 1 1 『発達と老化の理解』 中央法規 発行者：荘村明彦 参考書：『ぜんぶわかる 人体解剖図』成美堂出版 指定図書：介護福祉士国家試験 受験ワークブック 2018 上 中央法規							
授業外における学修及び学生に期待すること							
講義ではプリント等も配布するが、教科書には目を通しておくこと。 福祉の対象者である高齢者が、どのような人生を歩んできたのかに関心を持ち、高齢者の日常生活を具体的に知ってもらいたい。また、社会的に起きた出来事などについても関心を持ち、新聞などにも関心を持っておくこと。							

回	テーマ	授業の内容	予習・復習
1	子どもの特徴	人間の成長と発達の基本的な考え方について学ぶ。(田中)	自分が持っている子供のイメージについてまとめおく
2	小児と家族の諸統計	子どもを取り巻く環境と現状(人口構造、出生と家族、小児の死亡など)を理解し、今後の課題について考察を深めることができる。(田中)	子どもを取り巻く統計について調べておく
3	子どもの成長、発達の基本的な特徴を理解することができる①	発達と成長、発達の領域、知的機能、情緒・社会性、発達の原理と特徴について学ぶ。(田中)	発達と成長のちがいについて調べておく
4	子どもの成長、発達の基本的な特徴を理解することができる②	成長の評価、身体のバランス、歯・骨の発達、発達の評価について学ぶ。(田中)	成長の評価の様々な方法について調べておく
5	子どもの成長、発達の基本的な特徴を理解することができる③	発達段階別の子供の栄養の特徴、新生児について学ぶ。(田中)	母乳と人工乳のそれぞれの長所と短所についてまとめておく
6	子どもの成長、発達の基本的な特徴を理解することができる④	新生児、乳幼児の特徴と援助の実際を学ぶ。(田中)	自分の住んでいる市町村の母親学級の概要について調べる
7	子どもの成長、発達の基本的な特徴を理解することができる⑤	発達段階別の子供の栄養の特徴、乳児、幼児、学童について学ぶ。(田中)	小学校などで実施されているお弁当の日の取り組みについて調べる
8	子どもの成長、発達の基本的な特徴を理解することができる⑥	発達段階別の子供の栄養の特徴、思春期、青年期、家族の特徴について学ぶ。(田中)	自分が思春期を迎え、身体の特徴が変わっていく時期の心理についてまとめる
9	生涯発達の各段階の課題について理解し、考察を深めることができる①	発達課題、人格の発達、思考の発達について学ぶ。(田中)	人生各期における発達課題についてまとめる
10	生涯発達の各段階の課題について理解し、考察を深めることができる②	発達過程での問題点、まとめ。(田中)	発達過程に遅れがある児に対する対応について調べる
11	老化に伴う心身の変化と日常生活①	老化に伴う精神的機能の変化と、それが及ぼす日常生活への影響について学ぶ。(中村)	老化と精神的機能について復習する。
12	老化に伴う心身の変化と日常生活②	身体的機能の変化として、視覚、聴覚、味覚、嗅覚、皮膚感覚について学ぶ。それが及ぼす日常生活への影響を考えていく。(中村)	感覚器の変化について復習する。
13	老化に伴う心身の変化と日常生活③	認知機能の変化として、注意、反応時間、記憶、言語について学ぶ。それが及ぼす日常生活への影響を考えていく。(中村)	認知機能の変化について復習する。
14	老化に伴う心身の変化と日常生活④	知的機能の変化として、知能の構造、知能の変化に及ぼす要因について学ぶ。(中村)	知的機能の変化について復習する。
15	老化に伴う心身の変化と日常生活⑤	老化に伴う心身変化の特徴として、防衛反応、回復力、適応力について学ぶ。(中村)	老化に伴う心身変化について復習する。
16	定期試験		